

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
1 こどもたちが笑顔で育つ熊本 (施策1) こども・若者がキラキラ輝く社会 づくり 施策1-②特に支援が必要なこどもへの支 援	1,396,057	1,080,635	1 司法面接研修会事業 児童の精神的・身体的な負担軽減を目的として、警察官の聴取能力を向上させるため、部外 講師を招いて研修会を行った。 2 司法面接室の整備事業 これまで検察庁や児童相談所の施設を借用して司法面接を実施していたが、警察官による司 法面接の実施件数が増加傾向にあることから、司法面接に特化した施設の整備を行った。	警察活動費のうち P363 ～ P364 警察施設費のうち P361 ～ P362

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
2 世界に開かれた活力あふれる熊本 (施策5) 交通の利便性向上 施策5-①交通渋滞解消	2,218,920	2,203,398	1 交通安全施設等の整備 安全で円滑な交通環境を確保するため、交通安全施設等の整備を行った。 (1) 交通渋滞解消に向けた取組み ① 信号機の集中制御化等による信号制御の最適化 ② 交通渋滞対策支援システムの新規導入 (2) 道路の新設・改良等に伴う交通安全施設等の整備 新たな道路の開通や交差点部の改良等に伴う信号機の新設、道路標識・標示の整備	警察活動費のうち P363 ～ P364

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策2) 災害に強い県土づくり 施策2-①防災力の強化	1,177,398	1,172,365	1 警察統合OA整備費 警察本部庁舎が機能停止した場合に備えるため、サーバー更新に伴いデータベースのバックアップ機能を強化し、被災時の業務継続性を向上させた。 また、警察業務システムのバックアップシステムを用いて、機能移転訓練を実施し被災時の業務継続対応能力を向上させた。 2 危機管理対策費事業 県内で予想される豪雨災害、阿蘇山の噴火、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、充電式チェーンソー、充電式レスプロソー等を購入・整備して警察署へ配備するとともに、高い救助技術を有する機動隊員が迅速、的確に活動するための多機能型の搬送用具、水中トランシーバー等を購入し、災害対応に向けた万全の態勢構築を図った。	警察本部費 P357 ～ P360 警察活動費 P363 ～ P364

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4-①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進	314,258	310,996	1 ストーカー・DV等人身安全対策の推進 ストーカー・DV行為者の検挙、精神医学的・心理学的アプローチに係るカウンセリングの実施等により、被害者等の安全を確保するとともに行為の沈静化及び再犯防止を図った。 (1) ストーカー事案対策の強化 ・令和7年中のストーカー事案認知件数 : 290 件 ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく文書警告 : 5 件 ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令 : 33 件 ・ストーカー行為等の規制等に関する法律違反による検挙 : 12 件 ・他法令による検挙 : 22 件 (2) DV事案対策の強化 ・令和7年中のDV事案認知件数 : 472 件 ・配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律に基づく : なし - 保護命令違反による検挙 ・他法令による検挙 : 102 件 (3) ストーカー行為等・DVから被害者を守る具体的取組み ・地域精神科医療機関と連携して再発防止を図るため、2人のストーカー行為者に対して精神医学的・心理学的アプローチに係るカウンセリングを実施 ・危険性の高いストーカー事案の被害者等にGPS機能付き緊急通報装置の貸出を実施 (令和7年度貸出件数：76件) ・人身安全関連事案の被害者の保護対策の高度化及び事件捜査の効率化に向け、保護対策カメラを設置 (令和7年度貸与件数：12件)	警察活動費のうち P363 ～ P364

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名																																
(施策４－①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			2 犯罪抑止・少年保護対策費 非行少年を生まない社会づくりに取り組むとともに、少年の立ち直りを支援する活動を実施し、少年の規範意識の向上及び社会との絆の強化を図った。 また、熊本市や関係機関と連携した繁華街における合同パトロールを実施し、取締りを強化するなど、繁華街の環境浄化を図った。 (1) 少年非行の現状 <table><tr><td>区分</td><td>令和 6 年</td><td>令和 7 年</td><td>増減（7 年－6 年）</td></tr><tr><td>刑法犯少年数</td><td>398 人</td><td>541 人</td><td>＋143 人（＋35.9％）</td></tr><tr><td>初発型非行少年数</td><td>186 人</td><td>252 人</td><td>＋66 人（＋35.5％）</td></tr><tr><td>再非行少年数</td><td>85 人</td><td>151 人</td><td>＋66 人（＋77.6％）</td></tr><tr><td>再非行者率</td><td>21.4％</td><td>27.9％</td><td>＋6.5 ポイント</td></tr><tr><td>特別法犯少年数</td><td>71 人</td><td>75 人</td><td>＋4 人（＋5.6％）</td></tr><tr><td>薬物乱用少年数</td><td>9 人</td><td>23 人</td><td>＋14 人（＋155.6％）</td></tr><tr><td>不良行為少年の補導数</td><td>1,023 人</td><td>1,067 人</td><td>＋44 人（＋4.3％）</td></tr></table> (2) SNS に起因する子供の性被害等防止のための注意喚起・警告活動 サイバーパトロールにより発見した SNS 上の児童買春や児童ポルノ等の書き込みに対する注意喚起・警告活動を実施（3,808 件） (3) 広報啓発 ① SNS に起因する子供の被害・非行防止のための保護者向け広報啓発冊子（デジタル版を含む。）「スマホに弱い大人の教科書（熊本県警察発行）」を保護者等に配布 ② 少年をアルバイト感覚で犯罪に加担させないため、犯罪実行者募集情報（「闇バイト」）に関する非行防止教室、加担防止啓発動画を YouTube で配信 (4) 学校との連携 ① 熊本県学校等警察連絡協議会、熊本県学校・警察相互連絡制度の効果的な運用 ② スクールサポーター制度 ・児童生徒の問題行動等への対応 : 5,563回 ・非行・被害防止教育の支援等 : 379回 ・防犯パトロール等による児童・生徒の安全確保対策 : 4,139回	区分	令和 6 年	令和 7 年	増減（7 年－6 年）	刑法犯少年数	398 人	541 人	＋143 人（＋35.9％）	初発型非行少年数	186 人	252 人	＋66 人（＋35.5％）	再非行少年数	85 人	151 人	＋66 人（＋77.6％）	再非行者率	21.4％	27.9％	＋6.5 ポイント	特別法犯少年数	71 人	75 人	＋4 人（＋5.6％）	薬物乱用少年数	9 人	23 人	＋14 人（＋155.6％）	不良行為少年の補導数	1,023 人	1,067 人	＋44 人（＋4.3％）	警察活動費のうち P363 ～ P364
区分	令和 6 年	令和 7 年	増減（7 年－6 年）																																	
刑法犯少年数	398 人	541 人	＋143 人（＋35.9％）																																	
初発型非行少年数	186 人	252 人	＋66 人（＋35.5％）																																	
再非行少年数	85 人	151 人	＋66 人（＋77.6％）																																	
再非行者率	21.4％	27.9％	＋6.5 ポイント																																	
特別法犯少年数	71 人	75 人	＋4 人（＋5.6％）																																	
薬物乱用少年数	9 人	23 人	＋14 人（＋155.6％）																																	
不良行為少年の補導数	1,023 人	1,067 人	＋44 人（＋4.3％）																																	

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策４－①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			(5) 少年警察ボランティアとの連携 ① 少年指導委員と連携した風俗営業店舗への立入りによる環境浄化活動 : 73店舗 ② 少年サポーターと連携した非行少年、不良行為少年等に対する支援 : 77回 (6) 警察が行う児童通告 令和７年中に警察から児童相談所への通告児童数 : 1,664 人 (7) 繁華街における治安維持活動の推進 熊本市と連携し、風俗営業店舗への合同立入り、客引き及び客待ち行為をさせない警戒等の繁華街浄化活動を推進した。 (8) 悪質な客引き、風俗店舗等の検挙 繁華街における悪質な客引き、スカウト行為者を検挙するとともに、無許可の風俗営業店等の違法風俗営業を検挙した。 (9) 街頭防犯カメラネットワークシステムの運用 犯罪が発生する蓋然性が高い熊本市中心繁華街及び熊本駅周辺に設置した街頭防犯カメラ40台を継続運用し、さらに、令和８年３月から大津町及び菊陽町に同カメラを新たに10台設置し、運用を開始した。	

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名												
(施策4－①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			3 サイバー犯罪対策の強化 (1) サイバー関連事案の検挙及び相談状況 ① ゲームアカウントを対象としたフリマサイトアカウントに対する不正アクセス禁止法違反事件、ゲームアカウントの売買に係る詐欺、私電磁的記録不正作出・同供与事件、タクシー配車サービスアプリを悪用した詐欺、私電磁的記録不正作出・同供与事件等を検挙した。 ② ショッピングサイトで購入手続をしたが商品が届かず、代金を騙し取られる「インターネットショッピング詐欺」、SNS で知り合った人物や広告などから「確実に儲けが出る投資がある」などと勧誘されて現金を騙し取られる「投資詐欺」等の詐欺被害に関する相談、SNS アカウントが乗っ取られて詐欺に悪用されている、ショッピングサイトのアカウントが乗っ取られて不正注文されたなどの「不正アクセス」に関する相談を多数受理した。 <table><tr><td></td><td>令和6年</td><td>令和7年</td><td>増減（7年－6年）</td></tr><tr><td>サイバー犯罪検挙件数</td><td>227 件</td><td>174 件</td><td>▲53 件（▲23.3%）</td></tr><tr><td>サイバー犯罪相談件数</td><td>4,435 件</td><td>4,667 件</td><td>+232 件（+5.2%）</td></tr></table> (2) 人的基盤の強化 民間研修への参加、サイバー犯罪テクニカルアドバイザーによる研修、サイバー犯罪に関するシンポジウムへの参加等民間的知見を取り入れ、高度な対処能力を有する人材を育成した。また、捜査員に対する研修・教養を実施するとともに、サイバーセキュリティ競技大会を実施するなど、県警全体の対処能力の底上げと技術の研鑽を図った。 (3) 物的基盤の強化 複雑、巧妙化するサイバー事案に対処するため、高度なスマートフォンデータ抽出資機材及び暗号資産追跡ツールを継続して運用した。 また、資機材の一部について、より高性能な資機材への更新を行った。		令和6年	令和7年	増減（7年－6年）	サイバー犯罪検挙件数	227 件	174 件	▲53 件（▲23.3%）	サイバー犯罪相談件数	4,435 件	4,667 件	+232 件（+5.2%）	警察活動費のうち P363 ～ P364
	令和6年	令和7年	増減（7年－6年）													
サイバー犯罪検挙件数	227 件	174 件	▲53 件（▲23.3%）													
サイバー犯罪相談件数	4,435 件	4,667 件	+232 件（+5.2%）													

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策４－①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			4 捜査基盤の強化事業 県内で発生する警察事案の多くが車両利用であり、車両の手配及び割り出しは警察目的を達成のために必要不可欠であるため初動捜査支援システムを活用し、 ・殺人、強盗、暴力団・来日外国人等による組織犯罪、ひき逃げ事件等における被疑車両の速やかな捕捉と犯人の検挙 ・匿名・流動型犯罪グループの検挙 ・被疑者検挙を目的として実施する緊急検問の配置人員の合理化 ・盗難被害車両等の早期発見・回復 ・行方不明者の搜索 を行った。 5 組織犯罪対策の推進事業 暴力団及び準暴力団を含む匿名・流動型犯罪グループ等に対する実態解明及び取締りを徹底するなど、犯罪組織の壊滅及び弱体化に向けた取組を推進した。 (1) 暴力団等に係る犯罪の取締り 令和７年中の暴力団構成員等の検挙状況：169 件(前年比＋11 件)、127 人(前年比＋1 人) (2) 特殊詐欺等の取締り ・令和７年中の特殊詐欺の検挙状況：44 件(前年比＋13 件)、20 人(前年比＋11 人) ・令和７年中の SNS 型投資・ロマンス詐欺の検挙状況：7 件（前年比＋4 件）、4 人（前年比＋1 人） ・令和７年中の助長犯罪の検挙状況：27 件(前年比▲38 件)、19 人（前年比▲24 人） (3) 匿名・流動型犯罪グループに係る犯罪の取締り 令和７年中の匿名・流動型犯罪グループの検挙状況：142 人(前年比＋4 人) (4) 犯罪収益対策の推進 犯罪収益に係る犯罪の検挙等、犯罪組織に対する犯罪収益対策を推進した。 (5) 暴力団排除に向けた取組の推進 ① 視察等による暴力団情報の収集により、新規組員を認定した。 ② 令和７年中の暴対法に基づく中止命令等の発出状況：中止命令発出 5 件（前年比＋1 件）、損害賠償請求妨害中止命令発出 1 件（前年比± 0 件） ③ 令和７年中の暴力団排除に向けた不当要求防止責任者講習の開催状況：15 回(前年比± 0 回、受講者数約 1,000 人 ④ 自治体、公共機関及び民間事業者等からの相談等に応じ、暴力団排除活動を支援した。	警察活動費のうち P363 ～ P364 警察活動費のうち P363 ～ P364

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名																												
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4－②犯罪被害者支援	9,038	7,927	1 犯罪被害者支援活動の推進 犯罪被害者等の被害回復及び二次的被害の防止・軽減を図るため、各種施策を推進した。 (1) 民間被害者支援団体との連携 被害者等への支援活動における活動基盤の強化を図るため、公益社団法人くまもと被害者支援センターとの連携を強化するとともに、同センターに対する補助金の交付を実施 【公益社団法人くまもと被害者支援センターの活動状況】 <table><tr><td>活動業務</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>増減（7年－6年）</td></tr><tr><td>相談業務（電話、メール等）</td><td>1,712 件</td><td>1,504 件</td><td>▲208 件（▲12.1％）</td></tr><tr><td>直接的支援業務(病院付添等)</td><td>295 件</td><td>322 件</td><td>＋27 件（＋9.2％）</td></tr><tr><td>専門相談業務（弁護士等）</td><td>59 件</td><td>42 件</td><td>▲17 件（▲29.0％）</td></tr></table> (2) 二次的被害の防止・軽減事業 犯罪被害直後の居住場所の確保、診断書料・カウンセリング費等の公費負担による被害者の精神的・経済的負担の軽減 <table><tr><td>事業項目</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>増減（7年－6年）</td></tr><tr><td>中長期的避難施設借上事業</td><td>0</td><td>65</td><td>＋65（＋100％）</td></tr><tr><td>診断書手数料等の公費負担事業</td><td>1,958</td><td>2,108</td><td>＋150（＋7.7％）</td></tr></table>	活動業務	令和6年度	令和7年度	増減（7年－6年）	相談業務（電話、メール等）	1,712 件	1,504 件	▲208 件（▲12.1％）	直接的支援業務(病院付添等)	295 件	322 件	＋27 件（＋9.2％）	専門相談業務（弁護士等）	59 件	42 件	▲17 件（▲29.0％）	事業項目	令和6年度	令和7年度	増減（7年－6年）	中長期的避難施設借上事業	0	65	＋65（＋100％）	診断書手数料等の公費負担事業	1,958	2,108	＋150（＋7.7％）	警察活動費のうち P363 ～ P364
活動業務	令和6年度	令和7年度	増減（7年－6年）																													
相談業務（電話、メール等）	1,712 件	1,504 件	▲208 件（▲12.1％）																													
直接的支援業務(病院付添等)	295 件	322 件	＋27 件（＋9.2％）																													
専門相談業務（弁護士等）	59 件	42 件	▲17 件（▲29.0％）																													
事業項目	令和6年度	令和7年度	増減（7年－6年）																													
中長期的避難施設借上事業	0	65	＋65（＋100％）																													
診断書手数料等の公費負担事業	1,958	2,108	＋150（＋7.7％）																													

(警察本部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名												
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4-④消費者被害の未然防止	15,618	15,505	1 「電話で『お金』詐欺」防止総合対策事業 「電話で『お金』詐欺」被害の防止に向けた各種施策を推進した。 (1) 県内の「電話で『お金』詐欺」被害の推移 <table><tr><td></td><td>令和6年</td><td>令和7年</td><td>増減(7年-6年)</td></tr><tr><td>被害件数</td><td>113件</td><td>219件</td><td>+106件(93.8%)</td></tr><tr><td>被害金額</td><td>446,788</td><td>1,099,821</td><td>+653,033(+146.2%)</td></tr></table> (2) 「電話で『お金』詐欺」被害防止推進活動 ① 被害に遭うリスクの高い押収名簿登載者や高齢者に対して、被害防止コールセンターによる注意喚起を実施 ② 熊本県警察「電話で『お金』詐欺」対策マスコット「ワルモン」を活用した防犯講話、各種キャンペーン、SNSへの広告表示等による広報啓発活動を推進(SNS型投資・ロマンス詐欺に関する注意喚起も併せて実施) ③ 固定電話の国際電話利用休止申込み、携帯電話の警察庁推奨アプリ登録等による犯罪グループと被害者との接点を遮断する対策を推進		令和6年	令和7年	増減(7年-6年)	被害件数	113件	219件	+106件(93.8%)	被害金額	446,788	1,099,821	+653,033(+146.2%)	警察活動費のうち P363 ～ P364
	令和6年	令和7年	増減(7年-6年)													
被害件数	113件	219件	+106件(93.8%)													
被害金額	446,788	1,099,821	+653,033(+146.2%)													